

彙 報

留学生センター教員研究業績 (1997. 4~1999. 3)

中村正董教授

【講演】

- ①「日英関係と日本の現状と将来について」
英国・シティー大学日本研究旅行団 (大学院) 1997. 4. 12
- ②「ユース・フォーラム基調講演および審査委員長」
国際ソロプチミスト船橋主催 1997. 6. 15
- ③基調講演「ふるさとの生涯学習」
滋賀県竜王町主催「ドラゴンセミナー」 1997. 6. 29
- ④「アジアの知恵」講演 新潟大学留学生センター 1997. 8. 27
- ⑤「みんなで作ろう人権文化・米国に見た人権文化」
鳥取県人権文化センター設立記念フォーラム 1997. 11. 26
- ⑥「私の見た新潟での国際交流」新潟大学国際交流委員会 1997. 12. 15
- ⑦「もしも私が女だったら」滋賀県信楽町教育委員会主催 1998. 2. 22
- ⑧「コミュニティーづくりのプロデュース」JBIC・ジャパン主催 1998. 3. 18
- ⑨新潟大学主催 平成10年度新潟大学公開講座 (1998. 6. 6~7. 11)
公開講座主任講師及び「体験的異文化比較論」講義 (6月6日)
- ⑩「世界と日本の地方分権」長野県四賀村主催 1998. 7. 9
- ⑪「体験的語学格闘歴」埼玉県浦和短期大学英語科主催 1998. 12. 16

【その他】

- ①アジア祭 (二年に一度) 市民参加プログラム 古町モール舞台 主
管プロデューサー 新潟県主催 1998. 8. 1~2
- ②新潟市男女共同参画審議会委員委嘱を受ける 1998. 8. 24
- ③新潟 EU 協会設立代表幹事及び第一回会合主催 新潟大学 1998. 10. 16
- ④ロンドン国際劇団新潟特別公演「カンタヴィルの幽霊」公演実施
於：NEXT21 1998. 11. 11 ワイルド演劇鑑賞新潟実行委員会委員長
- ⑤「日英の美術の橋・ブリッジ展」 於：NEXT21 アトリウム
新潟 EU 協会・大和日英基金共催 1998. 11. 18~30
- ⑥「日英の美術の橋・講演」実施 於：新潟大学
新潟 EU 協会・大和日英基金共催 1998. 11. 18
- ⑦「地雷の無い世界実現をめざして」(英国地雷除去運動本部カーティス氏)
於：新潟大学 新潟 EU 協会主催 1998. 11. 25

柴田幹夫助教授

【論文】

- ①「大谷光瑞初めての外遊」 『東洋史苑』 50. 51号 龍谷大学東洋史学研究会
1998. 1
- ②「康有為と清末留日政策」 『東アジア・社会と文化』 8号。新潟大学東アジア学会 1999. 3
- ③「康有為和清末留日政策」 「戊戌維新一百周年国際学術討論会」 発表論文

【その他】

- ①「康有為の「改革論」再び注目（訳）」 『中国新聞』 1997. 6. 6
- ②「孫文と大谷光瑞」 『鏡如上人五十回忌法要』。本願寺別府別院。
1997. 10. 5
- ③「インド仏跡調査に心身をささげる」 『新潟日報』 1997. 12. 2
- ④「中国近代史と大谷光瑞」 大谷光瑞師没後 50周年記念シンポジウム冊子
1998. 3
- ⑤「戊戌維新一百周年国際学術討論会」に参加して 『環日本海研究年報』 6号 1999. 3
新潟大学大学院現代社会文化研究科・環日本海研究室

【口頭発表】

- ①「新支那論」 内藤湖南研究会発表 1997. 6. 21
河合教育文化研究所・河合塾京都校
- ②「上海と大谷光瑞」 日本上海史研究会 1998. 1. 25
神田パンセホール
- ③「清末留学政策と日華学堂」 新潟大学東アジア学会発表 1998. 3. 21
- ④「中国近代史と大谷光瑞」 「大谷光瑞師と中央アジア探険」 1998. 3. 28
大谷光瑞師没後五十周年記念シンポジウム
別府ピーコンプラザ国際会議場
- ⑤「康有為和清末留日政策」 戊戌維新一百周年国際学術討論会発表
1998年8月22日 中国北京大学

土屋千尋助教授

【著書】(分担執筆)

- ①『日本語教育史』関正昭、平高史也編 アルク「ブルガリアの日本語教育、ポーランドの日本学」1997.4 pp.126-129
- ②『留学生の発達援助』井上孝代編 多賀出版 「第3章日本語教育の現場にみる不適応事例」土屋順一共同執筆 1997.5 pp.37-56

【論文】

- ①「Present and Future Situation of Japanese Language Teaching in Mongolia」S.ドルゴル共同発表 1997 INTERNET 3rd WORLD CONGRESS JAPAN Health, Environment and Culture- 1997.9.29
- ②「外国人学習者のための脳内革命」土屋順一共同執筆『第8回日本語教育連絡会議報告』第10回日本語教育連絡会議事務局 1998.3 pp.66-70
- ③「ディスカッションを主体とした多文化クラスの実践」『多文化クラスの大学間および地域相互交流プロジェクトの実施と評価に関する研究』平成9年度科学研究費補助金基盤研究(c)研究成果中間報告書 研究代表者土屋千尋 1998.3 pp.5-17
- ④「多文化クラスにおける学生の意識変化-共同作業をとおして学生はどうか変わったか-」押谷祐子共同執筆『第11回日本語教育連絡会議報告発表論文集』第11回日本語教育連絡会議事務局 1999.3 pp.82-86

【日本語教材】

- ①「モンゴル人のための日本語教科書初級」S.ドルゴル、D.ナランツェツェグ、土屋順一 共著 モンゴル国立大学国際関係学部日本学科 1998.2
- ②『「モンゴル人のための日本語教科書初級」教師用指導マニュアル』S.ドルゴル、D.ナランツェツェグ、土屋順一 共著 モンゴル国立大学国際関係学部日本学科 1998.3
- ③「中・上級社会科学系読解教材テキストバンク」東京外国語大学 留学生日本語教育センター 横田淳子他共同執筆 1998.9

【その他】

- ①「全学協力による日本事情のカリキュラム編成および教育方法改善のための調査研究」『大学教育研究年報』第3号 新潟大学教育開発研究センター 1997.6 pp.101-119 「日本事情」調査研究プロジェクトの代表者として執筆
- ②「平成8年教養科目授業改善のための学生へのアンケート調査報告書-学生による授業評価-」新潟大学大学教育開発研究センター1997.6 pp.73-75

【口頭発表】

- ① 「外国人学習者のための日本語コンピュータ入力支援の方策—母音の長短—」土屋順一共同発表 第3回国際日本語教育・日本研究シンポジウム
1997. 11
- ② 『『多文化クラス』の運営について—多様化する学生同士がまなぶ中で、教師はそれとどうむきあっていくか—』平成9年度第10回日本語教育学会研究集会講演 1997. 12
- ③ 「日本事情と異文化理解」日本語教授法シンポジウム モンゴル国立大学
1998. 3
- ④ 「多文化クラスにおける共同作業の試み—大学間交流と相互コメント—」小山宣子、徳井厚子、脇田里子、足立祐子、宮本律子共同発表 異文化間教育学会第19回大会口頭発表 1998. 5
- ⑤ 「日本語教科書と日本事情」日本事情カリキュラム改善と日本研究 モンゴル国立大学 1998. 9
- ⑥ 「日本語予備教育におけるプレゼンテーション指導の展開」宇佐美洋共同発表 日本語教育方法研究会第12回研究会発表 1999. 3

宇佐美（前田）洋講師

【著書】

- ① 『黄金の四角地帯——シャン文化圏の歴史・言語・民族』, 第2章「タイ諸語」(pp. 27-46), 新谷忠彦編(共著), 1998. 03, 慶友社

【論文】

- ① 「ビデオ番組作成による異文化コミュニケーション授業」, 1998. 03, 『多文化クラスの大学間および地域相互交流プロジェクトの実施と評価に関する研究・研究成果中間報告書』(pp. 67-77), 文部省科学研究費補助金基盤研究(C) 課題番号09680297, 研究代表者: 土屋千尋
- ② Phonological Outline of Northern Pa-o Language, 1999. 03, 『シャン文化圏における言語学的・文化人類学的調査 最終報告書』, 文部省科学研究費補助金(国際学術研究) 課題番号08041009, 研究代表者: 新谷忠彦

【講演】

- ① 「タイの言語とそれをとりまく文化」, 1998. 1. 15, 福井県生活学習館主催 異文化理解講座
- ② 『『正しいこと』と『正しいとされていること』』, 1998. 9. 4, 福井県立高志高等学校学校祭